

ニチダイ (コード 6467 ジャスタック)

業績推移 (連結) (Q は四半期。予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率	利益	伸び率	純利益	配当		
09.3: 第 2Q	6,254	+1.7	437	-14.7	18.4	8.0	43.4	7.0
10.3: 第 2Q	3,084	-50.7	403	-	30.3	0.0	-	-
09.3	10,394	-17.4	190	-82.2	22.7	8.0	35.2	1.8
10.3(予)	7,500	-27.8	610	-	44.2	0.0	-	-

精密鍛造金型のトップメーカー

特色... 切削によらず、精密金型を使ってプレスで部品を完成品の形状に一発成形する「ネットシェイプ」をコア技術とする精密鍛造金型のトップメーカーで、自動車向けが主力。精密鍛造金型や精密鍛造品を手がけるネットシェイプ事業に加え、アッセンブリ事業でディーゼルエンジン用 VG ターボチャージャー部品の組立などを展開しているほか、フィルタ事業では、食品、医薬品、原子力、航空宇宙など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルタを製造。

今期の第 2 四半期は大幅減収・経常赤字に

売上高半減で経常赤字... 10 年 3 月期の第 2 四半期 (09 年 4~9 月) は、売上高が前年同期比 50.7% 減となり、コスト削減策に努めたものの主力の自動車向けを中心とする大幅な売上減の影響から、経常損益は 4 億 300 万円の赤字となった。事業別売上は、ネットシェイプ事業: 17 億 7,300 万円 (前年同期比 53.9% 減) アッセンブリ事業: 8 億 5,100 万円 (同 50.7% 減) フィルタ事業: 4 億 5,900 万円 (同 32.9% 減)。なお、09 年 7~9 月に限ると、売上高は 18 億 100 万円 (前年同期比 42% 減、09 年 4~6 月期比 40.5% 増) と、ひとつ前の四半期に比べると増加。事業別でも、ネットシェイプ事業: 11 億 400 万円 (同 40.3% 減、65.1% 増) アッセンブリ事業: 4 億 7,100 万円 (同 47.3% 減、24.4% 増) フィルタ事業: 2 億 2,500 万円 (同 37.3% 減、3.6% 減) と、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業で売上が回復。ネットシェイプ事業では国内外における自動車生産台数の回復基調や、部品メーカーの輸出対応により新興国向け金型に動きが出てきたほか、アッセンブリ事業では取引先での在庫調整終了に加え、一部の機種では安定受注の復活も。

10 年 3 月期の通期も減収、赤字見通し

減収、赤字へ... 今期の通期は、売上高が 09 年 3 月期比 27.8% 減、経常赤字の見通し。同社では、下半期から段階的に回復していくとみているが、10 年 1~3 月期の見通しが極めて不透明としており、業績予想は期初時点から変更していない。事業別売上予想は、ネットシェイプ事業: 40 億円 (前期比 35.8% 減) アッセンブリ事業: 22 億 8,000 万円 (同 18.9% 減) フィルタ事業: 12 億 2,000 万円 (同 9.7% 減)。ネットシェイプ事業においては、北米地区の部品メーカーに関わる、部品生産の精密鍛造化が進展していないトラックなど大型車に向けた対応を強化。アッセンブリ事業では新規サプライヤー選定や調達手順見直しなどによる在庫低減、コスト低減策を実施していく。フィルタ事業では下半期後半から石油掘削用フィルターの需要回復が見込まれている。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。